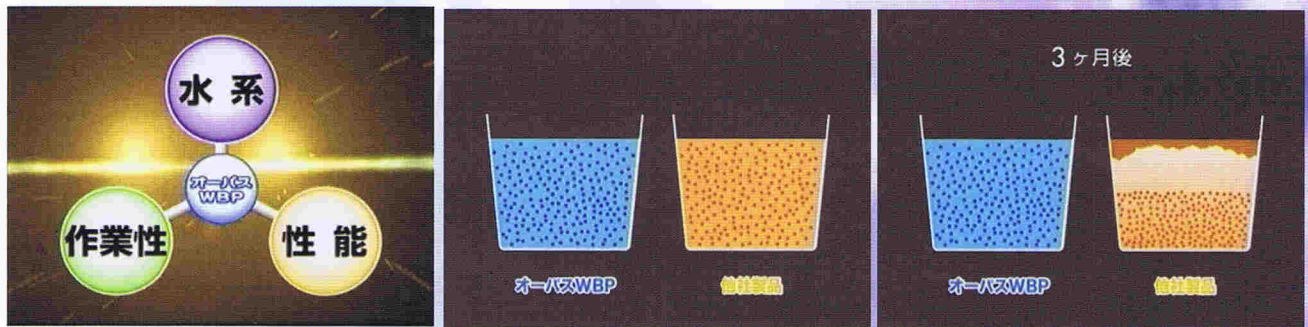


# 浸炭防止剤 オーパスWBP

- ※ 有機溶剤を使用しない水系 = エチルベンゼン「0」。
- ※ 高温浸炭(真空浸炭含む)での浸炭素防止性能が良好。
- ※ 浸炭防止斑・浸炭抜けが無い。
- ※ 温水で容易に除去できる。
- ※ 保管時の液分離が無い。
- ※ 製品の粘度が安定している。

14種類(粘度違いを含む)の、潤沢な製品群から、適合する品番を選択できます。



保管時の液分離がなく、均質な配合が維持されるため、常に安定な塗膜が得られる = 常に安定な浸炭防止性が得られる。



塗布後の液だれが少ない。

表面が硬化しないので、均質な塗膜が得られる。

高温での飛散が極小で、炉内汚染が少ない。

販売代理店

製造・販売元

株式会社ベル・トレーディング  
〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-6-10  
電話 06-6309-2102 FAX 06-6309-9682  
Mail opus@bell-t.co.jp

水系 浸炭/窒化 防止剤

# オーパス WBP

浸炭防止剤 塗膜硬化型	品番	C-010PN 020PN 030PN 040PN 050PN	
	機種	KV・ST	通常浸炭防止用：基本製品
		SF3E	高温浸炭・真空浸炭防止用：低粘度型
		SFR	高温浸炭・真空浸炭防止用：低粘度型
		SF/KV3	通常浸炭防止用：界面活性剤添加：密着性改良
		SFT	通常浸炭防止用：酸化チタン配合：塗布性改良
		HT	通常浸炭防止用：CH系前洗浄処理用：高チクソ性
KNT		通常浸炭防止用：CH系前洗浄処理用：高チクソ性	
軟質被膜型		KV-AA SF3E-AA	
	荷姿	1箱(5Kg缶×2缶=10Kg) 1箱(1Kg缶×2缶=2Kg)	
窒化防止剤	品番	N-110PN・120PN・130PN	
	機種	KV・SFR	
	荷姿	1箱(5Kg缶×2缶=10Kg) 1箱(1Kg缶×2缶=2Kg)	
希釈液	品番・機種	GB-10・GF-30	
	荷姿	1箱(1Kg×6缶=6Kg)	

## 特長

- ◎ 人体に**有害な有機溶剤を一切使用しない**水系防止剤。
- ◎ 悪臭がなく**作業者の負担を軽減**できる。
- ◎ 手や衣服等に付着後、乾燥しても**容易に洗い流せる**。
- ◎ **チクソ性**がある為、**保管時の分離が大変少ない**。
- ◎ **チクソ性**により**塗布後の形状変化(ダレ)が少ない**。
- ◎ 塗布後、気候・環境による**吸湿による崩壊等の劣化が少ない**。

- ◎ 浸炭・窒化**防止性能**において従来品に比較して優れている。
- ◎ 防止部分の**表面近傍硬度**を従来品より低く抑えられる。
- ◎ 10時間以上の**長時間浸炭防止処理**にも使用できる。
- ◎ 熱処理炉内の**液ダレ**による品質不良や炉壁の汚染が少ない。
- ◎ **真空浸炭の浸炭防止**にも十分使用できる。
- ◎ 水系でありながら熱処理後も**湯洗で容易に除去**できる。

消防法・・・摘要されない。 PRTR法・・・第1種405。 CAS No,・・・混合物に付無し。

代 理 店  
住 所  
電 話

製 造 元 株式会社 ベル・トレーディング  
本 社 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-6-10  
TEL06-6309-2102 FAX 06-6309-9682  
<http://www.bell-t.co.jp> e-mail opus@bell-t.co.jp  
名古屋営業所 〒489-0951 愛知県瀬戸市石田町193-2  
TEL 0561-85-8002 FAX 0561-85-1792

研究所 / 伊丹工場

2014.01.



# 水系浸炭・窒化防止剤 オーパスWBP

## 取り扱い説明書

### 【品番】

浸炭防止剤 C-010PN・C-020PN・C-030PN・C-040PN・C-050PN

窒化防止剤 N-110PN・N-120PN・N-130PN

高い ← ← ( 粘度 ) → → 低い

### 【使用方法及び使用上の注意】

1. 表面部が固くなっている場合がありますので、底部よりよく攪拌して使用して下さい。
2. 保管中、使用中に水分が蒸発して、粘度が高くなった場合、工業用水等を使用せず、当社指定の希釈剤を使用して、適切な希釈をお願いいたします。
3. 塗布前のワーク表面はよく洗浄し、汚れや油分のないようにして下さい。
4. 刷毛による塗布の場合は水性用刷毛を使用して下さい。（使用中の刷毛の乾燥を防ぐために水の入った容器に刷毛を浸漬しておいて下さい。  
ただし、塗布時には刷毛の余分な水は除いてください。）
5. 塗布、乾燥後、重ね塗りして下さい（ピンホール、塗布ムラ等の作業ミスを防ぐため）。  
ディスペンサー及びディッピングによる方法は重ね塗りの必要はありませんが、乾燥・収縮による塗膜に亀裂が発生した場合は、刷毛等で修復してください。  
※塗布被膜の厚みは0.5～1mm程度が乾燥後の目安です。
6. ワーク温度が高いものに塗布した場合、ワーク温度が下がるとワークが収縮し、部品と被覆剤の間に隙間が生じ、効果が損なわれることがありますのでご注意下さい。
7. 乾燥時間は周囲の環境により異なりますので、適時判断して下さい。  
（通常は2～3時間）
8. 塗布完了後は充分乾燥させてから、所定の炉に装入して下さい。  
（冷風及び熱風による強制乾燥をさせると、被覆膜がひび割れして十分な効果が得られない場合があります。）
9. 熱処理後は、温水（アルカリ液）の浸漬バブリング、超音波洗浄、シャワー等で除去して下さい。  
（参考……水温60±10℃で約30分間）

### 【保管、取り扱い上の注意】

1. 缶は密封して、直接日の当たらない場所に、常温で保管して下さい。
2. 入荷後約3ヶ月以内にご使用ください。
3. ご使用時にはゴム手袋及び保護眼鏡、保護マスクを着用して下さい。
4. 容器からこぼれた時は、布で拭き取って、汚染箇所は水洗いして下さい。
5. 水洗いに使用した水及び洗浄液（当製品を含む）は、しかるべき産業廃棄処理業者にて処理して下さい。
6. 当製品を口に入れないで下さい。万一飲み込んだ場合は吐き出してすぐに医師の手当てを受けて下さい。  
また、目に入った場合は、慌てずすぐに流水で洗眼し、医師の手当てを受けて下さい。

詳しくは、MSDSをご参照ください。